

本校生徒の活躍

メカトロアイデアコンテスト優勝・ 全国大会出場

メカトロ担当 佐々木裕章先生

アイデアと技術を駆使して自作したロボットで競い合う「メカトロアイデアコンテスト」では、リモコン型ロボットで石川県の民芸品である輪島塗のお盆や箸入れなどを金沢城に見立てた棚の上に運んだり、北陸新幹線に見立てた自立型ロボットが手毬を抱えて塩ビパイプのレール上を走るものでした。

この難問に機械科三年の課題研究班と工業研究部二年生で編成した二チームが挑戦しました。生徒達は休日や夏休み期間も登校して、試作と実験を繰り返しながらロボットを組み上げていきました。

九月に村山産業高校で開催された県大会には、この二チームが出場し、「寒業百万石」が十五年ぶりとなる優勝！二年ぶりの全国大会出場を勝ち取りました。

十一月に石川県で開催された全国高校ロボット競技大会では、予選四チーム中二位のため、準決勝に進むことはできませんでしたが、全国大会の技術の高さやものづくりにかける情熱を肌で感じてきました。



東北高校総合体育新人大会出場

陸上競技部 砲丸 機械科二年 安達 周弘

私は、県総体は出場することはできませんでしたが、顧問の奥山先生の指導により、徐々に記録が伸びていきました。その結果、地区・県新人で記録はさらに伸び、初めて東北大会へ出場することができました。

大会当日は、部員のサポートもあり、ベストの状態でも本番に臨む事ができました。しかし、本番では他県の選手や、大会の雰囲気や圧迫感に圧倒されてしまいました。その為、一投目の失敗の焦りから、最後まで良い結果を出せずに終わるといふ、とても悔しいものでした。

今回の東北大会で学んだ事は、精神面強化の重要性です。いくら体ができていても、気持ちの追いついていなければ、思うような結果が出せない事を東北大会で強く思い知らされました。この事をバネに、普段から東北大会の中で投てきをするイメージを持ち、練習をするように心がけています。来年度は、再び東北大会へ出場するだけでなく、今までの記録を出せるように頑張っていきたいと思います。

最後に、この度は同窓会の方々から激励金をいただきましたありがとうございます。



秋季山形県大会出場

野球部 機械科二年 鈴木 魁斗

甲子園をかけた夏の大会が終わり新チームでの活動がスタートした。目標は秋季大会県大会出場であったためそれに向かって日々の練習に励んできたがその中で、乗り越えていかなければいけない壁もたくさんあり毎日毎日少しずつ乗り越えようと頑張った。

私が部長になった時は正直、不安や言うことを聞いてくれず悩んだりした。そんな私をリーダー陣の亜夢、高谷、世代、友が支えてくれた。私には出来なかつたことをこの四人が指示して引つ張ってくれたからこそ一つのチームができた。

秋季大会では、六年ぶりに県大会出場の切符を勝ち取ることができた。私達は一年生大会でも県大会出場を決めたので二回も寒河江工業野球部の歴史を変えたことになる。これによって私達がやってきたことは間違っていないと証明することができたが夏勝つていくためにはまだまだであり、今やっていることに満足せず与えられたメニユーをこなすだけでなく自分達で工夫し、夏の大会では甲子園出場を目指し頑張ります。



V/V 快適な生活をお届けする

渡辺ヒーティング株式会社

山形市十日町三丁目1番48号
TEL 023-623-6194(代) FAX 023-633-3454

ONUMA
環境に優しい自動車販売・整備事業場

四輪販売 車検整備
二輪販売 一般整備

有限会社 **大沼モータース**

寒河江市大字八楯804-6 TEL(0237)87-1419 FAX(0237)87-1418